



和牛甲子園は1月の16日、17日の2日間に渡って開催されます。大会当日まであと1ヶ月となりました。大会1日目は体験発表会、2日目には枝肉共励会が開催されるため、本校の出品予定牛2頭は大会2日前の14日に学校を出発します。いよいよ、約2年半という期間を一緒に過ごした牛たちとの別れも近づき、大会が楽しみなような、出荷が寂しいような…。大会1ヶ月前というところで、12月2日、知多大動物病院の先生方に協力いただきエコーを用いた肉質検査を行いました。この肉質検査では、肉のBMSナンバーを知ることが出来ます。



↑エコーの様子

和牛甲子園まであと1ヶ月！

BMSって？

Beef Marbling Standard
「牛の脂肪交雑基準」

つまり、その牛にどれだけ
サシ(脂肪交雑)

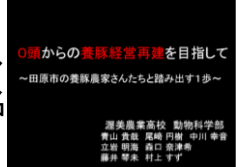
が入っているかを示す値。

No. 1~12まであり、数字が高い程◎

その結果2頭の出品予定牛のうち、小柄なとみた号ではBMS7、大きなしげよし号ではBMS9が予想されました。実際に肉にしてみないと、本当の数値は分かりません。しかし、しげよし号ではBMS10の可能性もあると言われており、昨年の甲子園の結果を見ると、BMS10以上であれば入賞も見えてきます。次の動物科学部通信では、和牛甲子園の結果をお知らせします。よい報告が出来るよう、残りの期間も頑張ります。

校内プロジェクト発表会 結果！

優秀 0頭からの養豚経営再建を目指して
～田原市の養豚農家さんたちと踏み出す1歩～
青山貴哉 立岩明海 藤井琴未 他4名



優秀 渥美農業高校初！自家産和牛肥育への挑戦
的場愛佳 他1名



畜産系女子8人で 鶏に海苔あげてみた！！

3D課題研究 動物研究班

畜産系女子8人で
鶏に海苔あげてみた！
3Dの8人も、
動物科学部として出場！

先日行われた校内プロジェクト発表会に、動物科学部からは3チームが出場。これまでの研究や学習について、堂々と発表することができました。2チームが優秀賞を獲得し、さらに酒粕黒豚プロジェクトは県大会出場権を獲得しました。来年度の県大会へ向けて、今まで以上に一層、頑張つて活動していきます。

今月の動物情報

「黒豚」ってどんな豚？
プロジェクトでの発表内容にもあった「黒豚」について紹介します。実は品種名は「パークシャー種」。黒豚という品種の豚はいません。特徴は鼻先、四肢、尾先が白い「六白」といわれる可愛らしい見た目。一度の分娩における産子数が少なく、豚の出荷月齢は一般的に半年と言われている中で、約8ヶ月かかります。しかしその分、その肉質は他の品種と比べても良いと言われます。今まで本校で黒豚を飼育したことはありません。楽しみですね。



専攻生のつぎやき

担当: 石川 冬弥

牛が好きです。段々と懐く子牛や、大きな母牛など、専攻での関わりの中で牛の魅力に気付きました。私は専攻の中で多くのことを体験しました。これから先経験できない、それらの体験は、私を大きく成長させてくれました。日々の除糞では、何気ない細かな部分に気付く力が付きました。また、いのちに関わる場面を経験する中で、普段何気なく食べているいのちのありがたみを感じました。もう最後の当番も終わり、専攻実習も残りわずかです。最後の実習の日まで、自分が身に付けた力を発揮して頑張ります。

